



# ロン・ホルト Ronald Holt

あんなに強烈な体験をしたことがないと  
多くの人が言う、内容の濃い7日間

# シード・オブ・ライフ

リサ・ロイヤルさんのパートナーであり、  
考古学者のロン・ホルトさんは、幼少の頃、  
東京の立川に住んでいたこともあり、  
日本の森やお寺を探検していたという。  
フラワー・オブ・ライフ・リサーチの代表でもあるロンさんに、  
シード・オブ・ライフについて聞いてみよう。

## スターピープル来日インタビュー③

ロン・ホルト  
Ronald Holt

世界中のFOLのファシリテーターを統括する Flower of Life Research の代表。考古学者として、海洋や陸地を含むポリネシアの考古学を専門に研究活動を続ける。1993年からは、the Flower of Life organization の仕事を始め、ワークショップ・ファシリテーターとして、ドランヴァロ・メルキゼデクのワークショップを世界中で開催。現在、映像企画を進行中。

取材・文=辻 麻里子  
Interview & Text by Mariko Tsuji  
通訳=甲斐さやか  
Interpretation by Sayaka Kai

## INFORMATION

ロン・ホルトさん、今年の秋来日予定！  
詳しくはナチュラルスピリットホームページをご参照ください。  
[www.naturalspirit.co.jp](http://www.naturalspirit.co.jp)

動して、壁の中に消えて行ったのですが、壁があるはずなのに宇宙空間に消えて行くような感じで、実際に周りに星も見えました。その光が完全に消えるまで見ていました。それが始まりですね。

でも、本格的に興味を持つようになったのは、18歳の頃「かもめのジョナサン」を読んでからでしょう。目を閉じているのに、いろいろなものが見えたり、幽体離脱をしたり、不思議なことが起きましたが、まだその能力を自分でコントロールすることはできませんでした。そして、1993年にフラワー・オブ・ライフに出会い現在に至っています。

### シード・オブ・ライフ

——フラワー・オブ・ライフ (FOL) の次のシード・オブ・ライフのワークショップは、日本ではまだ開かれたことがありませんが、どのような内容なのでしょう？

ロン シード・オブ・ライフは、7日間のワークショップです。まず1日目は、統合をはたすためには、いかに統一性が大事かということを説明します。

また、2日目は、螺旋からすべての幾何学が発生したことを話します。たとえば、FOLは古代の神殿にも使われていますが、こういった螺旋を見ても、螺旋はどこから来たのかという説明にはなりません。螺旋の起源がわかれば、最終的には私たちがこの螺旋に乗ってどこへ行くのか、神聖幾何学を使ってどこに到達

できるかわかります。螺旋はスピリットから発するものです。そして、スピリットは無なのです。つまり、最終的にはすべてを手放すことになり、一人ひとりに黄金螺旋を体験してもらいますが、これはすごい体験です。

3日目は、FOLがホログラフィックなものかを説明します。自分と家族との関係や自分の内臓はどうなっているのを見ることになります。その後、エネルギーや経絡、気の話に移ります。ドランヴァロも言っているように、すべての知識の体系はFOLのなかに存在します。

4日目は、ユニークなエクササイズです。マカバは診断に使えます。これは私の研究を通して偶然知ったことですが、自分のマカバを使って相手のマカバの状態やチャクラや内臓の状態をチェックするのです。

5日目は、エゴの日です。王様、女王様になって劇をやるのですが、エゴがどんなふうになるか劇中で演じるわけです。そして誘導瞑想で深いところに入り、その後は沈黙の行を行います。

6日目は、ハイアーセルフの日です。ハイアーセルフとコンタクトを取るワークを行います。

そして、最終日の7日目は、螺旋を使って神殿を作ります。そこにはボルテックスができて、ワークショップを行った場所はパワースポットになります。そして神殿の中でイニシエーションを受けます。「あんなに強烈な体験を人生でしたことがない」と、多くの人が言うくらい内容の濃い7日間なのです。

——いつ頃からスピリチュアルなことに興味を持ったのですか？

ロン それは12歳の時です。真夜中に目が覚めると、足元には虹のように輝く真珠色の光が見えました。その時、光に話しかけてみたのです。「まだ準備ができていないから、今はまだ怖いだけだよ」と。すると光は移